

## 平成 26 年度第 7 回宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画策定審議会議事録(要点筆記)

平成 27 年 4 月 27 日(水)19:00～21:00

宗像市役所 第 2 委員会室

## ■出席者

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
◎池添 昌幸	出	○前田 誠	出	牧 敦司	出
南 博	出	横山 麻季子	出		

◎印は会長、○印は副会長

## 《質疑・意見》

(委員)

報告資料 1 について何か気づいた点はあるか。

(委員)

特になし。

(委員)

報告資料 2 について、第 6 回の審議事項と同じ、5 点について確認する審議事項となる。個々の説明の中で修正部分が説明されるので、指摘事項を改めて確認する形で進めていきたい。現時点で何か気づいた点はあるか。

(委員)

特になし。

(委員)

資料 3-1 について、何かご意見はあるか。

(委員)

1 点、質問がある。修正を求めるものではないが、資料 3-1 の 1 ページの推計人口の記述について、人口ビジョンとの整合を問われた場合、どう答えるのか。

(事務局)

総合計画は 10 年間の人口推移の見込みを算出している。人口ビジョンでも人口推計を行うが、同じ市の 3 つの事業で推計がバラバラなのは説明がつかない。試算方法が異なる場合は、条件を設定して説明するが、基本的には同じ推計値を使う。

(委員)

総合計画の目標人口は将来推計人口とは異なる。総合計画の目標人口が達成された場合、アセットマ

ネジメントの方針はどうなるのか、という話になるのではないか。その点については考え方を整理した方が良い。

(委員)

ここの推計人口は人口ビジョンの推計と一致しないのか。

(事務局)

総合計画とは整合しているが、人口ビジョンはこれから策定するため、整合を図っていきたい。総合計画の人口目標としては現状維持を掲げている。本計画は期間が30年であるため、推計値を用いている。5年ごとの見直しの中で柔軟に見直す。

(委員)

人口減少の推計の中で財源が不足するということであり、人口が維持できれば更新、改修費用を確保できるという話がでてくる可能性もある。人口が維持できれば、こうなるという考え方を示した方がいいのではないか。増収になるとは限らないので、はっきり言うのは難しいが、人口が維持できれば現状が維持できるということを見えるようにしてはどうか。

(事務局)

最終のとりまとめの中で検討していきたい。期間が30年の計画であるため、20年後、30年後の見込みとして今回は検討したいが、5年ごとの見直しの中で、年度ごとの施設別計画の変更もありうる。

(委員)

現状のところ、他計画の目標人口等に触れてもいいのではないか。

(委員)

資料3-1、アの最初の段落で、10年後は人口維持を目標としているということを示しているので、記載を追加するとしたら、そこに注釈をつけるかつけないかだと認識している。5年ごとの見直しに合わせて見直すということで、総合計画の目標が達成されれば、5年後に修正するという考え方が整理されていれば良い。

(委員)

記載の有無、記載方法についてご検討頂きたい。

(委員)

資料3-2は計画のどこにどのような形で入るのか。

(事務局)

参考資料6の3の適正化方針のところに参考資料3-3の形で記載する。

(委員)

資料 3-2 に審議を移る。行政系施設について、何かご意見はあるか。

(委員)

1 ページの最後の行について、「既存の公共施設の活用等」とは、余剰空間の活用ということなのか。

(事務局)

既存の公共施設で空いている施設、部屋を活用したいと考えている。

(委員)

スポーツ・レクリエーション施設について、何かご意見はあるか。

(委員)

特になし。

(委員)

子育て支援施設について、何かご意見はあるか。障害児童所支援事業所はどのような施設なのか。現状の中で記述がないが、それで良いのか。

(事務局)

学童保育と同じ、児童の預かり施設である。現在建築中の新しい施設であるため、現状の記述はない。以前は河東小学校の空き教室を活用していた。

(委員)

新しい施設だから記述しないというのは説明になっていない。新しい施設であるため、改修は必要ないと考える旨を記載した方が良いのではないか。

(委員)

移転する施設であることを現状に記載し、方針に 30 年間は維持更新を行う旨を記載してはどうか。

(事務局)

ここには基本的な考え方を示しているので、個別の施設については書き込んでいない。全体のバランスの中で、どう表記するかを検討する。

(委員)

市民文化・社会教育施設について、何かご意見はあるか。

(委員)

「施設規模の適正化」と「規模の適正化」の記述を合わせた方が良い。

(事務局)

記載を統一する。

(委員)

7 ページのコミュニティ範域施設の方針について、ここはコミュニティセンターのあり方について書く場所であり、消防の格納庫等から始まる文章を、コミュニティセンターの更新、見直しにあわせて、小規模な施設を更新するという流れの文章にした方が良いのではないかと。

(事務局)

ご指摘の通り記述を見直す。

(委員)

保健、医療、福祉施設について、何かご意見はあるか。

(委員)

特になし。

(委員)

学校教育系施設について、何かご意見はあるか。

(委員)

方針の 1 つ目について、総合教育会議等で検討するという事になっているが、この記載内容ではアセットマネジメントの方針にはならないのではないかと。記述を見直してほしい。

(事務局)

記述の見直しを検討する。

(委員)

その他の施設について、何かご意見はあるか。

(委員)

公共施設白書では公衆トイレが 6 か所と記載されている。追加された公衆トイレが 15 か所となっているが、何が増えたのか。特に広域施設の公衆トイレとはどのようなものなのか。

(事務局)

公衆トイレは 20 m<sup>2</sup>以上を目安としているが、大島の風車の公衆トイレ等、20 m<sup>2</sup>未満の施設を一部あげている。公園に付属したトイレ等も含まれる。他の施設よりもm<sup>2</sup>あたりの改修、更新費用がかかるため、位置付けを追加した。広域施設の公衆トイレは正助ふるさと村やさつき松原のトイレ等を位置付けている。

(委員)

他と異なる条件を設定しているのであれば、そのことを明記すべきである。

(委員)

維持更新計画を見込んで、公衆トイレを対象施設としてあげているということであれば、その旨を記載すれば良い。

(事務局)

記載について、検討する。

(委員)

道路について、何かご意見はあるか。

(委員)

特になし。

(委員)

橋梁について、何かご意見はあるか。

(委員)

特になし。

(委員)

公園について、何かご意見はあるか。

(委員)

特になし。

(委員)

漁港施設、下水道について、何かご意見はあるか。

(委員)

特になし。

(委員)

全体を通して、何かご意見はあるか。

(委員)

追加された施設がいくつかあったが、今後は追加がないのか。施設の劣化調査はどのような状況なのか。

(事務局)

今後、追加はない。施設の劣化調査はすべて終わっており、工事履歴等を反映させたいので、維持更新計画に反映する。

(委員)

資料 3-3 のコミュニティ範域施設の方針の劣化調査についての文章が課題の文章と同じになっている。

(事務局)

記載の誤りであり、修正する。

(委員)

資料 4-1、2、3 について、何かご意見はあるか

(委員)

2つを1つにまとめたということでわかりやすくなっている。必要な記述はされていると感じる。

(委員)

1つ疑問点だが、新旧対応表の11行目、「コミュニティによる市民参画や協働を推進していきます」とあるが、ここで記載しているコミュニティとは誰なのか。コミュニティ運営協議会の構成員のことなのか、一般市民なのか、わかりにくい。

(事務局)

コミュニティ運営協議会だけを指しているのではなく、地域住民を指しているのので、それがわかるように記載を改める。

(委員)

記載している図について、住民ワークショップは市民ワークショップが宗像市では正しい表現ではないか。市民、利用者アンケートが枠内から記載が削除されているが、多様な形で市民参画を行うとい

うことであれば、枠の中にアンケートについても記載した方が良いのではないか。

(事務局)

市民ワークショップに記載を改める。アンケートも本文に記載しているように実施していきたいと考えており、図中への記載を検討する。

(委員)

この計画で記載されている市民参画の市民とは宗像市内に住む人という理解で良いか。

(事務局)

宗像市に住む人に加え、通勤・通学をする人も含めて市民としている。

(委員)

資料 4-4、5 について、何かご意見はあるか。

(委員)

特になし。

(委員)

資料 5-1、2、3、4 について、何かご意見はあるか。

(事務局)

このアンケート結果は速報で示している。こういう分析をした方が良いということがあれば、ご意見頂きたい。

(委員)

赤馬館の利用率が少ないが、開館から 4 か月なので、但し書きを記載してほしい。これでは利用が少ないというイメージを与える。

(事務局)

但し書きを追記する。

(委員)

大島の施設など、利用圏域を絞って結果を見た方が良い施設については、それを考慮した分析をすべきではないか。一律に市民で見ると、数値だけが一人歩きするおそれがある。母数の見方は検討した方が良い。スポーツ施設は利用率が落ちているので、年齢で区切って分析するなど、利用者層を想定した集計をしたほうが良いのではないか。

(委員)

問 2-2 は深堀しても仕方がない。利用の有無でどうこうという議論にはならない。市民に示す際には削除しても良い設問である。アンケートの設計の時点で審議会にかけてほしかった。問 2-1、2-2 はアンケート設計上、問題である。クロス集計は設問ごとに使い方を分けたい。

(委員)

調査、分析を実施する側として、ところどころ気になる点がある。アンケートを実施する際に補足資料や説明書きが示されているが、この情報を与えられると、維持すべきではないと思うのは当然であり、回答の誘導になっているのではないかと。関心あるなし等、合算されてクロス集計がされているが、設問の尺度通りに結果をまとめた方が良い。相関があるなしを統計上の有意性の判定なしに語るのは問題である。都合の良いように集計したのではないことをきちんと示すべきである。

(委員)

アンケートの集計結果として、意図的でない示し方が重要である。利用している人、しない人でのクロスは必要だが、利用頻度を細かく分析しても意味がない。逆に誤解を生むことになる。

(委員)

他で実施したアンケートの回収率を教えてください。

(事務局)

市民アンケートを実施しているが、回収率は同程度である。

(委員)

アセットマネジメントについて、極端に市民の関心が高い、低いということではないという理解で良いか。

(事務局)

その理解で良い。

(委員)

施設の劣化調査の進捗状況を教えてください。

(事務局)

現地での劣化調査はすべて完了している。現在、施設の工事履歴を把握しているところであり、これらを加えて相対的に評価を行う。内部で協議したうえで、きちんとした形でお示ししたい。

(事務局)

第 8 回審議会の日程は改めて調整をお願いしたい。